

# 平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 共助社会づくり課

担当名: 担い手支援担当

内線: 2838

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B4	共助の取組マッチング事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	共助による地域のきずなづくり推進費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令				戦略項目	12 日本一の共助県づくり		
						分野施策	050301 支え合いで輝く豊かな地域社会の形成		
1 事業の概要	<p>地域や社会の課題解決を図ろうとするNPOや自治会へ、スキルやノウハウ、人生経験を活かして社会貢献したい専門家と、助成金や寄附、融資など活動資金をつなぎ、共助の取組を拡大・強化する。</p> <p>また、金融機関等からなる「共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワーク」において、民の力を活用した共助活動を下支えする仕組みを構築する。</p> <p>(1) 「共助仕掛人」の設置 市への補助金の執行残を減額 △289千円 経費節減による減額 △225千円</p> <p>(2) 共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワークの運営 経費節減による減額 △103千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア 「共助仕掛人」の設置 8,355千円 (当初 8,869千円) (ア) 市民活動サポートセンター(3か所)、共助社会づくり課の計4か所に設置 (イ) 市に設置する「共助仕掛人」は、地域の専門家の発掘を行うと同時に、NPOや自治会とのつながりをつくり、地域の課題解決のマネジメントを行う。 県に設置する「共助仕掛人」は、広域的な事業についてのマネジメントを行うほか、助成金活用のための助言や金融機関等と連携した資金導入の促進を行う。 イ 共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワークの運営 35千円 (当初 138千円)</p> <p>(2) 事業計画 ア 「共助仕掛人」の設置 (ア) 専門家の募集や、専門家による支援を受けたいNPO等の把握 (イ) 専門家と専門家の支援を受けたいNPO等のマッチング (ウ) マッチングした取組の進捗や成果を把握 イ 共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワークの運営</p> <p>(3) 事業効果 ・地域の課題を解決する事業の支援を行い、共助の取組を拡大・強化する。 共助の取組マッチング成立件数 235件 (27年9月末現在) 専門家登録数 245人/団体 (27年9月末現在)</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 県民の潜在的な力の掘り起し、県に配置する「共助仕掛人」はマンパワー事業で実施、県民活動総合センター、各市民活動サポートセンターと連携</p> <p>(5) 補正予算の概要 ア 共助仕掛人を設置する市への補助金の執行残を減額補正 イ 経費節減による減額補正</p>					
2 事業主体及び負担区分	<p>(1) (県10/10) 市0 (県10/10)</p> <p>(2) (県10/10)</p>								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.0人=9,500千円								
予算額				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△617							△617	8,390
現計額	9,007							9,007	